議　　事　　録

令和７年　１０月　２４日

記 録 者 名	山﨑　寛子
会　議　名	一般社団法人天草宝島観光協会　令和7年度　第3回理事会
日　　時	期　日：令和７年９月２４日（水） 時　間：１４時００分～　１６時００分
場　　所	天草宝島国際交流会館ポルト　多目的ホール

議　事　内　容

出席者　出席理事：中田勝也、山下修平、近藤和泰、江崎航、深川隆一郎、松本國雄、小川和生、竹地克夫、田口京重、藤本貴士、木下雅貴、松﨑義文　12名

出席監事：本田一

顧　　問：泉　廣幸

欠席理事：平下豊、野﨑多喜子、吉田隆一郎　3名

欠席監事：近藤雄一

事務局　：中山事務局長、古川雄一、山﨑寛子、山下朋子、金子賀寿彦、園田安仁、坂田喜久美

1. 開会

（事務局長　中山）

※手元資料の確認、出席定数(12名出席/15名)を満たしているため会議成立を報告し、開会。

それでは令和7年度第3回理事開会にあたり、藤本会長からご挨拶をお願いいたします。

（藤本会長）

皆様こんにちわ。６月の総会より随分日が経ちましたけども、皆様のご協力の下、無事滞りなく終えて、この場を借りて御礼申し上げます。有難う御座いました。今年度も引き続き宜しくお願い致します。

また、先般の豪雨災害で被災された方々へ、心よりお見舞い申し上げたいと思います。我々

当協会としましてもですね、秋の行楽シーズンへ向け、一人でも多くの皆様にお越し頂けるようにですね、地域のイベントおまつり、またグルメキャンペーン等で最大限発信しながら少しでも挽回できればと考えております。
インバウンドに関しても、皆さんご承知の通り、７月に満を持して就航した上海便が残念ながら来月を持って一旦運休という事で、非常に残念なニュースで御座いますけども、一方台湾便は変わらず好調のようで、８月には台湾の空港で天草のプロモーションも、泉顧問、中山局長、お疲れ様でした。また11月には台湾で旅行博も開催されますので、しっかりセールスアピールしていきたいと思っております。
今年度より初めて理事の方、ご参加の方もいらっしゃるかと思いますけども、地域の事情も踏まえて要望等も緊張されずにご発言頂ければなと思っております。

（事務局長　中山）
それでは議題に入ります前に議長選任したいと思います。我こそはという方がいらっしゃれば挙手をお願いしたいと思います。
（挙手なし）
それでは事務局案として田口副会長に議長をお願いしたいと思います。

（議長　田口氏）
はい、それでは審議事項もたくさん御座いますので、式次第に従いましてスムーズな議事進行にご協力をお願いできればと思います。それでは議題の方に入ります。

（事務局長　中山）
（1）令和７年度事業計画・予算（案）の補正について
はい、それでは3. 議題の（１）ですね。令和7年度事業計画・予算案の補正についてということで、本資料をおめくり頂きまして右側のページです。
まず、R7の事業計画と予算補正に関しては、まずは一般会計という事でA3の縦長の別紙をご覧頂きたいんですけども、まず１番の事業費ですね、①観光宣伝・観光客誘致という事で、事業費支出のところをご覧頂きまして、部会の活動費に820千円と書いてあるかと思いますが、この内訳を海開き安全祈願祭と部会の活動費として内訳を分けております。
続きまして②会長決裁枠です。こちらは同じ欄にあります。会長が冒頭仰いました台湾の商談会ですね。泉顧問に行って頂いてそこにかかる旅費。および、天草伊勢えび祭りの試食会を8月22日に行って頂いておりますが、サンセット大使の方にお越し頂いたので、そこに係る費用としての7万円を会長決裁枠から支出させて頂きたいと思っております。

続いて、令和7年度支部の予算補正の変更内容ですけども、まず①河浦支部ですね、こちらは宣伝活動費としての808,000円がですね、使用用途を詳しく決めたという事で御座います。

崎津教会イルミ＆イベント458,000円、新春マルシェ20万円、河浦中学校体験学習15万円となっております。総額の808,000円は変わりありません。

続いて一枚おめくり頂きますと、五和支部の変更の中身が書いてあります。こちらは印刷製本費の30万円を見込んでおりましたが、印刷製本費を20万円、10万円を鬼ノ城公園祭りに充てるという事になっております。

続いて運営費ですね。こちらは旅費交通費を当初95万円を見込んでおりましたけども、3万円減額しております。理由としましては修繕費ですね。8月の豪雨災害で渡辺時計店の裏の駐車場もかなり被害を受けておりまして、土が全部出てきておりました。そこで職員で砂利を入れて、そちらに5万円計上させて頂いております。一般会計は以上です。

続いて特別会計です。こちらは化石採集クルージングですね。県の方針で今年度からノハラボさんが主体的に事業を担い、我々としては広報等の支援を行う事と決まりました。

続いて②の旅行商品販売（天草ツアー）ですね。こちらは収入の部の一番上、補正が収入として60万円、支出の32万円というのが、上半期の実績見込み額として挙げております。

③チャリチャリ実証実験ですね。こちらは委託料の中に記載があるんですけども、R6に引き続き本年度も実施中です。収入としては10,182千円の収入があり、支出は970万円の予定となっております。

④の伊勢えび祭り、こちらは事業者さんから出して頂く65万円、支出は事業費として300万円ということで、こちらは実行委員会が開催されまして、事業費の赤字分の圧縮については継続して協議を行う事となっております。

次にポナン社クルーズ船は今年4月に2回寄港がありました。実績としては特別会計に420万円とありますが、細かくはご覧の通りです。支出についてはご覧の通りで30万円ほどの実入りがあったという事になります。今年度につきましては、来年の3月に寄港の予定があります。明日に詳細を詰めていくキックオフミーティングが開催される予定です。
ここまでがR7年度の事業計画補正等の案になります。

続きましてR8年度の事業計画予算案についてです。
こちらはR7年度の内容が基本となりますが、同じような中身で現状考えております。TVCMについては観光振興課と相談をしながら進めてまいります。
各支部事業としましては1,200万程度の事業予算となります。部会については正副部会長会議

を開催して方針を決めていく事になります。
観光に関する調査研究ですね。調査研究ということでキャンペーンのアンケート調査を実施して参ります。
3番の観光客受入態勢の整備はランチガイドブックの増刷、観光客の受入態勢の整備という事でHPの運営であったり、イラストマップの増刷などを行って参ります。
4番ですが、観光関連諸機関との連携事業ですが、引き続き出水長島などとの協力体制を図って参ります。島の宝観光連盟については今年度を持ちまして解散の方向となっております。
③のその他の部分ですね、VISITあまくさをはじめ、サイクリングフェスタ、苓北町との連携事業なども今年度はすでに始まっております。
一番下の天草グランフォンドについてはR8年度が本大会の開催予定となっておりますがまだ詳細は決定しておりません。

資料をおめくり頂きまして、特別会計の事業となります。着地型旅行商品という事で、来年度も旅行商品販売を引き続き行います。化石採集クルージングについては先ほどもお伝えしました通り、今年度からノハラボさん主体で我々は広報の支援を行います。旅行商品造成についてはTRUE COLORSの冬の放映の後にお問い合わせを頂いていて、我々としてはロケ地マップなども作成し、これに関連した旅行商品、また来年2月に放映を控えている「レンタルファミリー」という映画も撮影が天草であることから、見た人がこちらに訪れたいと思えるような旅行商品を造成していきたいと思っております。
2番目の牛深の観光案内所委託業務については南の玄関口となりますので、引き続き運営を行って参ります。
3番目の﨑津集落の清掃業務も引き続き同様に行って参ります。
宿泊客数調査も日々行っており、来年度も委託事業として行って参ります。
ポルトの委託事業ですね。引き続き受託をしてまいります。
チャリチャリの実証事業について、来年度は3年目となりまして、多少減額をせざるを得ないという事でご覧の額となっております。
その他委託としてクルーズ船受入ですけども、R7年度については3月の寄港を予定しておりまして、R8年度についてはポナンの寄港は無く、JTBGMTが企画しているモナコ船籍のスワンヘルニックが5月と9月に﨑津寄港を予定しておりまして、こちらもWEBでの打合せを予定していて、内容についてはポナンに提供しました内容をほぼ踏襲する形になると思います。

冬の天草誘客推進協議会、あまくさロマンティックファンタジーも引き続き行って参ります。牛深ハイヤ保存会については予算はまだ確定せずという事で、引き続き行って参ります。
自主事業費①生うに三昧ですが、次回は「三昧」という文字を消して、違った名称にて開催する予定であるとの事です。
②の伊勢えび祭りです。今年度も始まっておりますけども、こちらはお伝えした通り、赤字

分の圧縮を検討していくという事になります。
委託費です。DMO推進費、弁護士、顧問料も継続して参るという事になります。

資料の裏ページは事業委員会にて利用した、一年間の大まかなスケジュールで御座います。上から観光協会、実行委員会、天草市、主なイベントとして年間このような大まかなスケジューリングで進んでまいります。
以上が令和8年度の事業計画になります。続いて予算案ですけども、このR7の補正というところがほぼほぼR8の当初予算という事になって参ります。まだ確定的な数字は申し上げられませんけども、今年度と同様の中身ですすんで進めていく事となります。

一点、天草支部から増額要望があるという記載がありますが、支部の事業計画の資料をご覧頂けますか？R8年度の予算については各支部から9月10日を目途に事業計画と予算を出して頂いております。従来であれば12,005千円というのがR7年度の本部支出額です。
その中段ですね、R8の要求額（本部支出額）というところにですね、天草のところに200万円という記載があります。180万円のR7支出額に対して天草支部が20万円増額になって200万円という要求が上がって来ております。よくよくこの中身を見ていきますとですね、下田温泉祭があって、そこに対して更なる誘客を行いたい、という理由書きはあるんですけれども、そこの増額要求が来ています。ただしこの支部予算については市からの補助金で賄っている事もあり、そこの中身についてこの理事会においてお諮りさせて頂いて、ご協議頂き、方針を決定したいと思い、ここに書かせて頂いております。こちら皆さんいかがですか？

木下さん、この件について天草支部として何か御座いますか？

（木下 副会長）
コロナで温泉祭がずっと中止になっておりまして、5年ぶりに去年開催したんですけれども、やってみて予算が縮小しても厳しかった。これまでメインだった恒例のブリつかみなどもやめたが、それでも厳しかったと。で、宣伝等に充てられなかった部分があったので、その辺りに充てていきたいな、と思っております。
（田口副会長）
天草支部の方から説明がありましたが、ご意見等あられる方は？

（松﨑理事）
下田温泉祭りには、天草市の方から直接実行委員会に補助金出してます。
観光協会の支部事業としてまた・・・これは天草市の補助金が入る訳ですので、その辺の整理が必要だと思います。私達も対外的に説明できるように。

（議長　田口副会長）
金額は把握されてますか？事務局の方

（松﨑理事）
今、数字は分かりません。

（議長　田口副会長）
松﨑理事が言われるのは、直接天草市からも補助金が入ってます、その事業に宝島として更に変更して助成ができるかと。

（松﨑理事）
観光協会を経由して、今度は支部の事業として補助金出す訳でしょ。
そこは対外的に説明できるように整理が必要だと思うんですよ。
この分は実行委員会の補助金、この分は観光協会の事業としてやってるとか、
そこを説明できるような理屈がないとなかなか厳しいのかなと思います。

（木下副会長）
例えば、こないだの分は祭り本体と花火大会と分けたんです。花火大会は別の団体がする、観光協会がするとしていったらいいのかなという感じがするんですけど。
祭り本体は実行委員会、花火大会とくっつけるようなイメージ。

（議長　田口副会長）
やり方を工夫すれば。天草市として、木下さんがおっしゃった事がクリアできれば削る事が目的じゃなくて、発案されたことに関して理事さんの意見をよく聞いて決めていった方がいいんじゃないかなと思ってるんですが、他のところもそういうな形になってくるとこれは前例になると思うんで。

（山下副会長）
基本的には同じ事業に対して、天草市と観光協会、二重に補助をするのはダメというような話を昨年いただいたかなと思うんですけど、その考え方というのは、さっきの話じゃないですけど、この部分とこの部分で中身が分かれてますという形であれば説明ができるかもしれない、という事なんでしょうか。

（松﨑理事）
そこが、対外的に納得を得られるような理由であればですね、通常は天草市が支援する時には実行委員会がやるイベントで金額が不足であれば、実行委員会として増額要求をすると、いうのが普通かなと。

（山下副会長）
市に対して？

（松﨑理事）
市に対してですね。

（山下副会長）
それは通るんですか？市に対してやって。

（松﨑理事）
　そこは、分からないですけど観光協会は観光協会でこの祭りに充てていると、そこに市が補助金を出しているという事になればきちっと整理する必要があるんじゃないかと、監事から指摘を受けるのかなと、いう事になると思いますので、通常はそういうやり方はしないですね。きれいに説明ができるような内容であれば。

（山下副会長）
　本渡支部とかでも新しい事業をやろうとしてるんですが、もしかするとその二重みたいな　ケースが生じる可能性もあるんで、もう一回整理してみようかなと思います。

（小川理事）
　後援て、天草市後援、観光協会後援、というようなパターンはよくあると感じてますが、そういう訳にはいかんとですか。お金の問題なんですけど、観光協会は市から出てるから、そこから出すのはおかしいんじゃないかという話なんですけど、観光協会は観光協会で独立した団体なんで、そこでお金を出す、市からもお金を出す、それをきっちりしたら片方ずつしか出せなくなるっていう感じにならないですかね。

（松﨑理事）
　観光協会の財源で補助される分は別に構わないんですが、両方とも市から補助金が出るという所が問題視されています。

（松本理事）
それはそうでしょう。市からと実行委員会で使う金が一緒ならば、市はやらない工面するのは当たり前だと思います。イベントとしてするには、観光協会独自でするイベントなのか、市の予算を使ってするイベントなのか、区別しろというのがやはり市の言い分でしょ。

我々は今までそういう捉え方をしてましたけどね。100 万のイベントをするとすれば市からは補助金をいくらもらいます、足りない分は自分達で出すやり方をすれば市からもクレームは付かないと思いますけど、市のお金を観光協会で預かっておいて、その予算を使って、特別会計から出すなら別だけど、同じ補助金を使って事業をするというのは、要するに二重になるんじゃないんですか。

（議長　田口副会長）

共催したり後援したりして宝島観光協会の名前が出てくる、当然天草市だけじゃなく有明のイベントに登壇して挨拶等もさせてもらっていて協賛はしている、宝島も。
そういった意味では同じことなので、そこをうまくやる方法はないんでしょうかと松﨑理事はおっしゃっている。　松本さんの言われるのももっともです。
今からこういう事は増えてくるんじゃないかと思います。

（小川理事）
会計上の科目とか税金が違うとか基本的なところでダメっておっしゃるなら、その通りでございますという話になると思うんですが、解釈の問題だと。天草市さんで決めたんであれば従うしかないんですけど、できれば柔軟にやっていただけたら色々企画も広がっていくんじゃないかなと。

（松﨑理事）
観光協会の支部の事業としてこういった事に取り組みたいというような中身ですね、今現状の予算の中で割振りをして事業をやっていただく、新しい取り組みは別にいいと思います。既存のイベントで実行委員会が事業主体となってやっているところに市が補助金を出してます、それに対してまた観光協会から出す、そこまではいいとして、観光協会が出す分の原資が更に市からの補助金というのがどうかということです。

観光協会は特別会計、自主財源から支援する分については、私ども市がなんら言う事ではないです。

（議長　田口副会長）
やるのはいいが、自主財源から出していただければ何の問題もないということですが。

（山下副会長）
支部予算は全て市からの補助になってるんですよね？

（中山事務局長）
そうです。

（山下副会長）
これを観光協会の自主財源からという形にすれば支部の取り組みもということですが
どうですか。

（中山事務局長）
とはいえ、予算書の一番下の赤字でマイナス 470 万程度が計上されてますが、これ我々の赤字です。この赤字を継続して 20 万増額分を特別会計から出しますよと、伊勢えびと同じ

ですよ、300 万の年間の赤字、そこに加えて天草支部の下田温泉祭りの 20 万円の赤字をこれから出し続けるということであればそうしますけど、そしたらここの協会なくなりますんで、そういった事を皆さん考えて発言をいただければなと思います。

（議長　田口副会長）
それは、理事だけじゃなくて事務局の方も例えば基金であるとか補助金であるとかそういったものについても、今までやってないじゃないですか？
確かに理事には責任があって私も責任の一人なんですが、やるべきことはやっていかんといかんし、先だって事業委員会の中でも基金についてもお話しがあっておりましたし、両方でマイナスをどうして行くかとやっていくべきじゃないかなと思います。
今の 20 万についてやりたいというご意見ですから自主財源から出して松﨑理事が言われるようなとこはクリアして進めるか、どうかを協議していただければ。

（山下副会長）
これは市に対する要望を今出してる、検討している段階ですよね？
天草市の方からこういう感じですみ分けますからという形で出していただいて、それを市のほうで通していただくという方策も一つある訳ですよね？

（松﨑課長）
そうでね。普通であれば事業主体が実行委員会じゃないですか、だから実行委員会の事業費が不足しているならば普通は実行委員会から市に要望が来るのが普通だと思います。

（議長　田口副会長）
そうしたら、そういう事でお願いします。

（中山事務局長）
ありがとうございます。
それでは（3）部会の活動ですが、合同正副部会の開催のため、日程調整をかけております。

（4）新規会員の承認については、正会員 3 名の申込があっております。
こちらについては理事会の承認を得なければなりませんので、皆さんいかかでしょうか。

（理事）全員承認

（松﨑理事）
ちょっと意見交換させていただきたいことがありまして、旅行商品の造成や販売について、市の方も毎年支援していますが、できればこのあたりで実績をあげていただきたい、販売の方で。なかなか実績があがらないと我々も議会について説明できない、実績が上がらないなら止めたらどうかという意見も出そうなんで。販売を意識した商品造成、積極的な販売についてお願いをしたい。

それからもう1点。今ちょうど9月議会の会期中ですが、決算について審議がございまして教育旅行の件で、コロナがあって人流が止まり、また動き始めて今まで来てくれた学校が戻って来るだろうと思ってましたが実際のところ現状の物価高騰や宿泊料金の値上がりで各学校、行先の見直しが起きている。コロナ前よりも全然数字が戻ってこない状況。

教育旅行については、団体旅行でもありますし平日に日程が組まれるので宿泊業を営んでおられる方にとっては、いい需要じゃないかなと私は思ってますが実際のところどうなんでしょうか。率直なところ意見交換をさせていただきたい。

行政としては予算組んでセールスに行ってますが、数字が伸びずに苦戦しています。旅館経営者がどうしても教育旅行をどうしてもほしいと思っているのかがなかなか聞こえて来ないものですから議会からは少し見直したらどうですかという話もありまして。

（藤本会長）
一般団体がものすごく減少して、教育旅行が一番大きいパイを占める部分がありますから全国的に旅館ホテルなどは積極的に旅行会社の教育部門もございますので、そこでチームを組んで積極的に取り組んでいきたい次第です。また、コロナも収まって海外の学生たちも国内日本各地に、奪い合いになる、JTB 大手はじめアドバイザーを入れて天草をどう積極的に売り込むかが、重要なポイントだと思います。

そこに精通している職員が今現在いないもんですからエージェントの力を借りながら進めさせていただければと思います。

皆様ご承知のとおり熊本は最低賃金が82円上がって来年1月から1034円、我々経営者にとれば非常に厳しい状況。そこをいかに天草で取り組むか、お客様を。これは事業部中心になってほんとに真剣に、そこは当事者意識を持って、我々はあくまで経営者ですからそこは。

事務局もホントに本気になって天草に一人でも多くお越しいただくような施策、商品造成をホント正念場だと思いますよ。

課長が言われるようにどんどん商品造成、教育旅行はじめですね、一般団体も個人も取り込むような施策をどんどん打っていただきたいと思います。

（松﨑理事）
受入協議会の活動については、活発に動かれていて実績が上がっているのかどうか。
天草市については、今のところ数字が上がっていない状況です。

（藤本会長）
今度、受協の方も呼んで一緒に協議したほうがいい。

（松﨑理事）
当事者のみなさんが取りに行きたいという熱意が伝わって来ないと行政の予算もなかなか取りにくい部分があるもので、そういう動きを活発にして見せて行かなければ私達も対議会に対しても熱意を持って取り組んでおられるという話もできると思いますので、是非よろしくお願いしたいと思います。

（議長　田口副会長）
受協の組織については、元々プリンスホテルの国武さんがいるときに出来た。その時は事務局を宝島に置いていた。その後宝島が事務局をやめて、天草の受協も熊本県の受協もある。
天草の場合、色んな業種の方がいらっしゃって、ホテルが中心になって、イルカ業者も入って活発に活動されてて、何回となく宝島さんと一緒にやりたいと過去に説明を受けた気がする。

御所浦の民泊もあって、20 校とか 18 校とか来たのを覚えています。行政と宝島と受協の方と一度お話をして､今後どのように進めるかという事をお聞きになったほうがいいかと思います。今受協の会長は、イルカの入江さんになっていると思います。

（藤本会長）
　以前は、苓北、上天草、天草と持ち回りで事務局をしていたようですが、そこは天草を代表する宝島が事務局を受けてもらえれば、それが一番理想かなと思います。

（松﨑理事）
事務経費の問題があったんでしょ？当時？

（事務局　山﨑）
　そうですね。上天草が中心になってされていたので、岬亭さんを主としてですね。天草のホテルよりも上天草の方が比重が大きかったかなという印象は当時あってました。

（議長　田口副会長）
アレグリアさんも入っておられるんじゃないんですか、受入協議会は？

（近藤理事）
　今回、私副会長になりましたけれども。観光振興課が修学旅行に対して消極的になるという事は、言っちゃいけない言葉じゃないですか？

（松﨑理事）
いや、いや、いや、消極的になるという事ではなくてですね、数字がなかなか・・・

（近藤理事）
　数字がなかなか減ってくるのは、現状しょうがない話であって、それをいかにどうするか言い方自体が仲間意識がないというか､蚊帳の外かという言葉に聞こえてしょうがないというか、もっと、じゃ、いかにお客様を呼ぶ、修学旅行を呼ぶ、それを市の観光課と我々と受協と話し合っていくかというのをやらないといけないと思いますけど。

　今回、受協に初めて入ってまだ１度も会議に出てないので何とも言えないですけど、我々ホテル旅館は、修学旅行生徒を積極的にどんどん取っていかないといけないですし取りたいと思ってます。それもご協力お願いします。

（藤本会長）
　次回、受協会議のときは是非私も参加して意見交換できればなと思います。松﨑課長その時はよろしくお願いします。魅力ある観光素材、イルカウォッチングはじめ、恐竜、御所浦、ハイヤの文化体験など、全国に引けを取らない観光素材たくさんありますので、天草に目を向けてもらえると思いますので、積極的なセールス展開していただきたいと思います。
必ず将来学生達、大人になってまた懐かしんで帰ってきますので、そこが重要な要因ですので。

（議長　田口副会長）
松﨑理事よろしいでしょうか。

（松﨑理事）
はい。

（議長　田口副会長）
近藤理事が言われた事は、私達を代弁して言っていただいたんだと思います。
行政と宝島がどういうふうに、やっていくかという事が一番大事じゃないですかね。

（小川理事）
最近のお子さんの取り扱いがどんどん難しくなってきています。
お子さんにどうやって接すればいいのか、そういうのは受協の方で、何人がかりで世話するとか、情報入ってますか。

（近藤理事）
私はまだ受協に入ったばかりで分かりません。

（藤本会長）
そこは旅行会社に教育旅行専門の担当がいますから、そこも、今のトレンドも含めて。

（近藤理事）
　修学旅行で宿泊していただくときの他のお客様を入れずに貸切で対応したり、すみわけは行

わないといけないので、一般のお客様、修学旅行のお客様、満足していただけるかというのは、やり方を変えながらやっています。

（小川理事）
　修学旅行はビジネスホテルに泊まってたのが、今はちゃんとしたホテルじゃないと先生が嫌がってという話をちらっと聞いたもので。ビジネスだと先生が見きれないから、ちょっと高くてもきっちりしたホテルに泊まるとか、先生方がちょっとでも楽にできるような。私自身はお子さんに是非来ていただきたいと思ってます。

（松﨑理事）
私も印象では、行政は学校回って営業しますが受協の方も一緒に来られる事もあったが、なかなか最近は参加していただけない、熱意を計り兼ねてるところがあったもので。問題提起したところです。

（近藤理事）
次回おっしゃっていただけたら私必ず参加させていただきます。
ご協力お願いします。

（中山事務局長）
それぞれの議案で質疑を取ればよかったんですが、飛ばしておりました、すみません。
議題の（1）～（3）までは済みましたので、（4）新規会員の承認のところから再開しますが別紙の正会員 3 名のご承認をお願いいたします。いかがでしょうか。

（議長　田口副会長）
新規会員についてはご承認でよろしいですか。

（理事全員承認）
はい。

（中山事務局長）
飛ばしてしまってました R7 年度の事業計画、予算案の補正についてご承認はよろしいでしょうか。

（議長　田口副会長）
1 番の令和 7 年度事業計画予算案の補正についてご承認はよろしいですか。

（理事全員承認）
はい。

（議長　田口副会長）

令和8年度事業計画、予算案について承認はよろしいですか。

（理事全員承認）
はい。

（江﨑理事）
さきほど事務局長から特別会計の部分がマイナスの補正予算になっているという部分で、そのマイナスになった状態で承認を取るということなんですけど、今回理事会なんでマイナスになっていいのか？という部分はご承認いただいたということでよろしいんですね。

来年度計画の部分も同等の数字で持っていっているので、来年も特別会計がマイナスの数字で計画を持って行くという流れになりますが、前回事務局長が会議終った後に実はマイナスの部分を協議できていなかったんだよね、ということがあったんで、ホントにそれでいいのかということ、しっかりご理解いただきたいた上で。

（議長　田口副会長）
本年度決算予想も令和8年度予算も今のところ特別会計から400万ほど持ち出す見込みになっておりますが、今日の段階で計画の予算案としてご承認いただけますでしょうか。

よろしいですか。

令和7年度は皆さんご承認いただきまして、令和8年度の時に江﨑理事からそういう話がございましたので、令和8年度予算については現状、案の状態ですけど、今事務局から提出されたのは令和7年度予想と同じ計画と金額の配分になっています。

（江﨑理事）
私も説明が不足してたんですが、特別会計でマイナスを少しでも減らそうという部分で例えば、支出の部分で顧問、弁護士に払っている費用を運営費に移行して本会計の方で天草市に対して要求をしたり、DMO推進についても今まで単発的にしていたのを特別会計でしておりましたが、長期的にやらなきゃいけないという方向でシフト転換するのならばそこを天草市に対して一般会計の方に要求をするということは可能なのでしょうか。

それは、特別会計のマイナスを少しでも減らすという意味も込めての質問です。

（松﨑理事）
一般会計は、基本、補助対象になり得る事業なので、そこは補助対象にはならないと思う。どっちにしても市の補助対象にはならないと思います。

（中山事務局長）

江﨑理事がマイナスを減らしていこうというお話をご提案いただいて、会長からもありましたとおり自主財源を増やしていく、売れる旅行商品を作って販売して必要で、DMO 推進費や顧問弁護士というのは、市からは補助対象になり得ないという事だったので、特別会計からの支出をキープしたままマイナス額を減らしていくというふうに軸足を変えていくしかないのかと思います。

（藤本会長）
私就任当初、松﨑理事より 4,000 万の内部留保がありますので、そちらをどんどん活用してくださいと言われましたけれども現段階での内部留保はいくらですか。

（事務局　山﨑）
内部留保については、以前も税理士さんを含めて説明をさせていただいたかと思うんですが預金残高としては 2,000 万円ほどありますが、それは運転資金という事で本会計から予算が市から入るまで、今回で言えば 7 月の中旬に入金がありましたが、それまでの支払とかに対して特別会計の運転資金を利用して支出を賄っていくという事で理解を得ていただいたかと事務局も理解をしていたんですけれども

それを内部留保という事で、じゃんじゃん使っていいお金という事ではないということで私共事務局は理解しておりますので、それが枯渇して 2,000 万ゼロとなってしまうと
どこか銀行からお金をお借りするとかそういう経営方針を取っていかないといけないんじゃないかなと認識しております。

（議長　田口副会長）
その認識の元に前期末と現状の残高をお聞きになっているんだと思います。
現金残高が 2,000 万あれば、クリアしていくという理解でよろしいですか。

（事務局　山﨑）
令和 6 年度決算では、総会資料では 3,000 万ぐらいあったと認識していますが、総会資料を持って来ていないので・・・

（議長　田口副会長）
松﨑課長、総会資料ありますか？

（松﨑理事）
特別会計の正味財産増減計算書の最後の残高は当年度は 30,192 千円になってます。

（議長　田口副会長）
今年度 400 万減るということは、2,600 万ということで。運転資金が 2,000 万必要になってくる

というと大変厳しくなってきていると。

（山下副会長）
すみません、令和8年度④の伊勢えび祭りの支出の事業費が300万でこれが丸々赤みたいな形になってるんで、これ次第な感じがあるので、実行委員会の方と話をして、
でるだけ圧縮するという形に持っていくしかないなというふうに思います。

（議長　田口副会長）
令和8年度については、ここで残高が今のような状況で、例えば増やすと、マイナスを抑えることについても急にお話しはできないでしょうから現状として承認していただいて、次の時に今言われたような圧縮とプラスも含めてどういう事業をやれば、今まで少しずつ溜まって4,200万までいきまして、それを一から減らしなさいということでしたので、今3,000万まで減らしてると、使用資金として一般的にいうと2,000万いるという事であれば、これ以上は非常に厳しくなってきていますよと、これについては松﨑課長、市の方が支払が遅いという事もあるんでしょうけど、今年は少し早かったということですが、どうしてもそこにタイムラグがあると現状としては2,000万ほどは特別会計からもってきてますよということなんですが、特別会計は3,000万ほどは必要だということで予算を組み立てていくという考え方に変えていくと、いう事になるんじゃないかなと思いますが、いかがですか。

（松﨑理事）
今のいかがですかは、内部留保3,000万円がだいたい適当なんじゃないかなという事ですか。

（議長　田口副会長）
その意味も含めてです。

（松﨑理事）
それは私からは適当ですとも言いにくいし、十分じゃないですかとも言いにくい。
通常、何千万という資金を持っておられる団体に補助金を出すとなるとなかなか対外的に説明が難しいとは思いますけれども。資金繰りとしていくらかは必要ですという事は分かりますから。ただその資金繰りに対しましては、これまでは市も内部留保がほぼゼロの時代から融通をきかせて前払いで払ったりとかしてるので、そうしていけば、そう大きな手元資金というのはどうなのかなと思いますけど。

（議長　田口副会長）
元々ゼロからスタートしたわけですから。

（松﨑課長）
その時もやり繰りできたんでしょうから。

（議長　田口副会長）

借入はゼロですから。

（事務局　古川）
　その当時は補助額も大きかった。決算の時期だけですけど、全ての決算を終えてからじゃ　ないと振込がなされないので、タイムラグが何か月か発生する。その期間、4 月に一旦お金がなくなるというような会計上の状況があって、そこから実際に次の予算が入るまでの期間の運転資金が 3～4 ヶ月近くありますので、その期間運用するために 2,000 万が必要だということですよね。

（松﨑課長）
はい。

（事務局　古川）
それがないと運営が成り立たない。3 月の決算の時期からお金が減っていって次の入金を待つという状況なので、会計上数字が大きく出ているけど、削ってなんとか耐えて次の入金を待つ状況なので 2,000 万とか見た目上センセーショナルな数字ですけど実状はそういう感じです。

（松﨑理事）
　またそのあたりは協議をさせていただければ。私もこれまで何回か年間のうちで一番現金が厳しいいつでいくらですかとお尋ねしたかと思うんですが、なかなかそれもお答えいただいておりませんし、どの程度が適当なのかというのが計り兼ねてるところがございます。
　通常どこの団体でも一時借り入れもすることはあると思うんですよね、それをせずに潤沢に年間をとおして借入もせずにこのお金が必要だという説明が、そのへんの材料も私達も準備しておく必要があります。今まで借入されたことはないんでしょう？

（議長　田口副会長）
記憶がある範囲ではないです。
ただ特別会計については徐々に溜まってきて 4,000 万を超えた。

　江﨑理事どうしましょうかね、今のところこういう状況なので、確かに伊勢えび祭りの事であれば実行委員会の方とも話をしなければならないし、予算圧縮やあるいは特別会計のところのさっき事務局長が言いましたことも何ができるかというところも R8 年度に組み込めるかというのもありますので、そのあたりも次回もう一回話すという事でいいですかね？
そうしない議論が進まないと思いますけど・・・

（江﨑理事）
　どちらにしても事務局側として運転資金が非常にかつかつであるという状況なんで特別会計の自己資金の部分を 4,000 万から減らしてどこを基準に 3,000 万以下はしないようにしましょうというのなら特別会計がマイナス数字を打たないようになるけど、今はまだ減らして大丈夫 2,500 万になったら今年度のマイナス 400 万を来年度に計画打っていいと思うけど、そこが事

務局側がしっかり天草市へ言えてない部分がある以上、運転資金が厳しいと事務局は言っているのであれば、通常の会社であれば、特別会計の部分に関してはもう最低でも±0 のところじゃないかと思う。

収入の部分が増えてからこそ伊勢えび祭りとかに収益が出てきたんで、そっちにお金を費やしましょうというような動きになると思う、今の現状で収益が見えてない以上は理事の中で特別会計を今後もお金を減らしていいのかという部分はありますので、私の中では、支出の部分は切るところは切っといて、次回の予算書を理事会に提出する際に収益を起こした計画書を出したうえで、伊勢えび祭りもこれだったらいけるよね、という部分を事務局側に出してもらわないと私も会員の一員として、今のマイナスの現状をハイ OK ですとはちょっと言えないです。

（藤本会長）
通常、一般企業でいえばホントに厳しい会社が状況になった時に、極端に売上を伸ばすか経費を削減するかどっちかしかないんですよね。

そこで経費もギリギリ詰め、、突き詰めて金融機関等から事業計画出しなさいと言われた時、最終的にメスを入れるのは人件費なんですよね、そこは。

私が会長になって夏・冬、賞与の会長承認お願いしますと、判子を押しますけど、果たしてホントにその賞与にボーナスに見合うような努力、旅行商品造成とか含めてですね、ホントにやっているのかと言われれば、まだまだ努力がいかがなものかなと思います。そこを私は成果主義を導入してもいいんじゃないかなと思っています。やる気のある職員がどんどん出して、もうやる気のない人には、去ってもらう。もうそこは瀬戸際まできてるんじゃないかなと。

　最終的には自分達で稼いで自分達で自分の給料を稼ぐようなそういった当事者意識を持ってですね、ホント取り組んでいただければ、それが一番理想の観光協会の姿だと思います。

いつまでも市におんぶにだっこでもいいですけども、ある程度市の補助金は必要ですけどもそこはやっぱりもう一度ですね、黙ってこれまで従来どおり、そこの観念はちょっともう一度リセットするタイミングかなと私個人的には思いますけど。

どの企業もホント皆さん厳しいですよね、コロナが明けてから。

先日正副会議の時に事業部の古川チーフに尋ねましたけれども、今年観光庁から 700 億近くの補助金が出て何か利用するのはないね？て尋ねたところ、一切ないです、て、まさか、観光庁が出した補助金が観光協会が該当するような補助金がないて、その返答次第で、あーそんなもんかと、非常に残念な部分ではありますけど、そこはホント積極的にですね。

皆さん従業員もかかえてらっしゃって、なかなかお忙しいと思いますので、そこは事務局が率先的に局長はじめですね、もう 1 年経ちましたけれども、そこを良く理解していただいてです

ね、一人でも多く来島いただくような施策をどんどん打っていただければなと思っております。

（議長　田口副会長）
江﨑君、どうしましょうかね？
質問は江﨑君から出てますけれども承認できないと言えば先程言われました通り・・・

（江﨑理事）
それが理事会なので、あとは承認するかしないかを決を取ってもらって。

（議長　田口副会長）
令和8年度事業計画、予算案について、今の段階でご承認いただけますでしょうか。

（山下副会長）
これは金額が出てないんですよね、R7年度の感じっていうしかないんですよね、
赤字を容認するかどうかっていう方針を是とするか非とするか。

（江﨑理事）
令和7年度は総会でそもそもが圧縮してるので、私は令和8年度も特別会計をマイナスでいくかと、令和7年度のこれに関しては圧縮してるので事務局の取り組みとしてはいいと思ってます。

（議長　田口副会長）
令和7年度についてはもうご承認をいただいてますから、今、令和8年度について一旦このままの案で進めてよろしいでしょうか？というご提案です。

（中田理事）
一旦、このままの案ていうのはどの案？

（山下副会長）
ない、ない、ない。

（中田理事）
議題の2番項までは令和8年度事業計画、予算案についてというのはいる訳ですか？
そもそも議題で。

（議長　田口副会長）
　さきほど説明しましたように事業計画案としては前年度並みにやりたいという事を申し上げて　おりますので、それについて、江﨑理事から約400万ほど、事務局のほうから江﨑理事宛てにでしょうけども使用資金が足りない状況ですと、という話を聞いたと、いう事なんで、使用資金についてはですね、以前私も入りまして、手持ち資金の1年間の推移を調べていただい

て、税理士さんも呼んで、いわゆる手持ち資金が0になったときがダメですから、その年間分の状況については説明を受けた。最大限減った時に特別会計から持ってくるというような特別会計の残高が最終の金額ですから。

（小川理事）
毎年500万ずつマイナスになればいつかなくなるという事ですよね？

（議長　田口副会長）
そうです。

（小川理事）
それを今の段階でどう考えるかってことですよね。
4.5年で確実に0になるし、運転資金もショートするし、と今の段階では見えてると。
それをどうするかって、今の瞬間みんなどう考えるかって。

（江﨑理事）
　おっしゃる通りなんですけど。田口副会長たちの話では、税理士さん達と話していくらが、適性で、0でも問題ないという認識ですよね。

（議長　田口副会長）
いやいや、私は細かくは見てませんでしたけれども2,000万ほど特別会計から持ち出して、残高としては2,000万ほどあれば今のところ資金ショートすることはないんじゃないかと。

（江﨑理事）
それは、その認識で局長も大丈夫なんですか。2,000 万でいいんであったら、みなさん多分大丈夫じゃないのってなるんじゃないかなと思うんですけど。

（中山事務局長）
私が入ってすぐ、日々の口座残高の最低ラインはいつなのかと、彼女らが出してました。
記憶によると6月だったか7月だったか忘れましたが、補助金が出る寸前のところで何十万単位ですね、一番口座残高のミニマムは数十万単位です、100 万もないです、そういったところが最低ラインとして、その時出てきた方にはご説明して紙は出してますけれども、令和6年度のカウントで一番低い時は、7月何日かの数十万程度が一番残高が低かった　と記憶してます。

（議長　田口副会長）
それは、特別会計の残高を入れてですか？

（事務局　山﨑）
一般会計だけです。

（議長　田口副会長）
特別会計の残高がいくらかによって一般会計の残高が0に近ければ特別会計から持っていった時の残高が分かればいい、それを江﨑理事が認識すれば、またちょっと変わるんじゃないかと。

（松﨑理事）
両会計合わせて一番きつい時はいつなのかを皆で共有した方がいいんじゃないかな。

（議長　田口副会長）
どうしましょうかね。このまま…

（松﨑理事）
局長、R8年度の事業計画と予算案は、今日の時点で承認してもらわないと今後に支障が出るんですか？

（中山事務局長）
いえ、はっきり言いまして、来年、藤川係長と今後R8年度予算編成に向けた作戦会議を始めております。

その中でさきほど申し上げたインバウンドに向けての話であったり、持続的な人材育成等の3つの観点で藤川さんとは共有してその中から見込みがあるところを協議をしながらR8年度予算の組み換えを含めて新規事業をやるならば可能性としてはあるよと言われてますので、これから詳細を詰めていくことになりますんで、今日の時点では、粗々の案でございます。
ここでご承認いただかなかったとしても12月の理事会でR7年のより詳細な補正及びR8年度の予算についてのご承認をあらためていただくことになろうかと思います。

（議長　田口副会長）
先程、江﨑理事が言ってくれたように令和7年度については予算案については承認いただいてるんですよ、これはこれで進めていいと、思ってるんです。

ところがR8年度については、最悪の場合、特別会計から持ち出しますよという案について今の段階でご承認いただけますかと提案したところなんです。

詳細についてはプラスに転じるかもしれませんけれども今のところはこの予算で話をしているという認識なんでしょ。

（中山事務局長）
はい。

（議長　田口副会長）

それについてご承認を頂けますか？と。どうですか、よろしいですか？

（小川理事）
大枠はだいたいこのぐらいでいくよ、という話、OK するって話？

（事務局　山﨑）
11 月に総務委員会を開催する予定でいて、そこで細かなところの予算審議になってくると思いますので、一旦総務委員会ではかって、また同じく事業委員会ではかる機会もございますので、そこで皆さんもう一回練り直しを再度していただければと思いますけど。

（議長　田口副会長）
それでは、今日は承認はしていただかなくても今おっしゃったように事業委員会と総務委員会でそれぞれが予算の中身をもっておられますので、そこの委員長さん達に今日の理事会の話を含めてご検討いただくということでよろしいですか。

（理事全員）はい。全員承認

（議長　田口副会長）
では、そういうことでお願いします、次。

（中山事務局長）
はい。そうしますと議題に関するところは、新規会員の承認のところはよろしいですか。

（議長　田口副会長）
はい、それはもうさっきしたから。

（中山事務局長）
はい。そうしますと協議事項は以上になります。これからは報告事項に入ります。
（1）の総務委員会、事業委員会の実施報告について、①の総務委員会については総務部チーフの山﨑よりご説明申し上げます。

（事務局　山﨑）
総務委員会が先の 8/21 に実施がありました。
5/20 の理事会の時に総会前の協議だったために委員長、副委員長を決めてなかったんですが、江﨑委員長ということで 5/20 の理事会で決まったんですが、もう一度仕切り直しということで、8/21 の総務委員会をもって委員長を江﨑航氏、副委員長を中田勝也氏ということで決定をしております。

その中の１番項としてR7年度の各支部の事業計画及び予算案について変更を希望されてきたと

ころが栖本・倉岳支部と天草支部でした。
栖本・倉岳支部は、425,000 円予算を組んでいて 24 万円のその他財源を追加したいということで、16 万から 8 万円増やしたいという変更案が出ました。

天草支部としましては、西海岸イベントの 735,000 円を 30 万減額して販売促進の観光ＤＸ事業を新たに事業化したいという変更案が出されまして承認が得られておるところでございます。

2 番項が支部予算作成・予算変更に伴うルールということで、
①事業を行う場合は規程の事業計画書及び支出予算書を事前に提出し、事業終了後は事業報告書を提出すること。
②二重補助（天草市補助金⇒協賛金）及び飲食費は予算化できない。
③次年度以降の事業計画（案）及び予算（案）は事前に支部役員会（運営委員会等）を経て総務委員会で審議する。同様に新規事業を行う場合も総務委員会において説明し承認を得ることとする。

その他として、次回の総務委員会は 11 月中旬～下旬に実施予定、令和 7 年度の本会計と特別会計の全体予算書を説明して終了したところです、以上です。

（中山事務局長）
事業委員会の方を事業部チーフの古川から報告いたします。

（事務局　古川）
まず 1 番項は、事業委員長と副委員長をあらためて選出させていただきました。
事業委員長に山下修平さん、副委員長に近藤和泰さんに就任していただきました。

つづきまして、年間スケジュールについて、年間こういった事をやっているので何かはかりたい場合はこのくらいの時期に出して欲しいといったスケジュール感を共有させていただいております。

3 番、R8 年度栖本・倉岳支部新規事業案ということで小川理事の方から新規支部事業のご相談いただきまして、行うにあたり補助金を申請したいということで支部ではなく観光協会として申請したいという事で事業委員会で協議をしました。結果的に申請を了承し事業を推進すると決議しております。

その他、来年度行われる大きな主な事業に関しましてそれに付帯する形で新規事業として何か提案したらというご意見がありました。

例えば、倉岳の戦国ミュージアムオープンに絡めた事業であったり、本渡から阿蘇熊本空港直通バス路線開通に伴う PR、DC 開催に乗じた交流人口増加の施策、あまいちグランフォンド開催に乗じた PR や顧客満足度に係る施策などにおいてご意見がありました。

報告事項でありながら一つ協議をいただきたい内容なんですが、今年度から理事定数の減少に伴い理事が１名しかいない支部ができております。

それに従い有明、御所浦、河浦の各支部においては事業委員会に属する理事がいない。事業委員会で協議するうえで、この３支部の代表者がいない状況での話し合いによる偏り不公平が生まれる可能性があるという状況を踏まえて事業委員会の中で理事会にはかってほしいということで預かっております。

内容としては、理事が１名しかいない支部については総務委員会と事業委員会の兼務としてほしいということでした。

理事会ではかってほしい理由としては、この３支部の理事の方の負担が増えるということで理事本人の了承を得るために理事会ではかってほしいということになりました。理事が一名しかいない支部については総務委員と兼任する事としても良いか、協議をお願いしてもよろしいでしょうか。

（議長　田口副会長）
松本さん、過去にも兼務で入られた方も数名いらっしゃいましたよね？
総務委員会は支部長が入られて事業委員会には単独で入られたという事例は私も松本理事も記憶があります。

それははからなくてもその理事の方がご承認いただければいいし、総務委員会と事業委員会は会長の諮問機関と記憶しているんで、そういった面からいけば理事会にかける事と決定して進めることと事務局でよく整理して出された方がいいんじゃないかなと、もちろん理事会にかけることについて語弊はないんですけど、もう決まってることを理事会でかけたってどうもできないですから。

（事務局　古川）
なので、理事の方々がOKであればということで。

（議長　田口副会長）
分かりました。

（理事）全員承認。

（議長　田口副会長）
では、承認されました。

（事務局　古川）
次の事業委員会にはご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

（山下副会長）
　１点質問なんですが、栖本・倉岳支部の海開き釣り大会の本部支出金が０になってるんですけど、この場合ってこの表の中に入れる意味があるんですかね。その他財源で全部賄ってるんで、これ間違いじゃなければ、これどういう扱いですかね。

（中山事務局長）
本部支出金は0、その他財源は144,000円での開催となってますのでR8年も継続。

（山下副会長）
本部支出金がなくてもこの表の中に入れる感じなんですか。本部支出金がないような取り組みであっても。

（事務局　古川）
栖本・倉岳の事業として、支部としてやってらっしゃるものなので、費用がなかったとしても活動しますということで上がってるんじゃないかと思います。

（山下副会長）
わかりました。他の支部の多分そういうのあるんじゃないかなと思うんですが。
予算取ってない感じで。

（江﨑理事）
あくまで予算要求書なんで、予算を要求しないのであれば書く必要性はないという考え方

（議長　田口副会長）
ということでそれでよろしいですかね。

（中山事務局長）
総務委員会、事業委員会の報告は以上になります。
つづいて令和７年度事業報告になります。
　①本会計事業
　１）通年TVCMについては現在放送中で、来年2月末までKKTで放送中です。
　２）台湾関連について、８月２～３日で桃園国際空港と熊本空港連携という事で、泉顧問と私で行って参りました。県の観光ブースが設けられていて、そこでパンフレット配布等PRをしてきております。台湾については１１月７～１１日で台北の国際旅行博にも参加予定で、多くのお客様がいらっしゃる予定です。こちらは阿蘇・熊本・天草観光連携協議会として出展予定です。

②特別会計

受託事業です。最初の御所浦化石採集クルージングは協議事項で申しあげたとおりです。

旅行商品造成については「TRUE COLORS」の地上波再放送に合わせた聖地巡礼の旅行商品を作っていくという事になります。

チャリチャリについては、こちらも先程申し上げましたが、今年度はポート数、台数を増やした形での２年目を担っております。その関係で予算額が増額されております。

③退会報告

おめくり頂きまして最終ページは退会報告です。

先ほどの協議事項で新規入会は３名とありましたが、退会は８名となっております。

以上です。

（４）その他

台湾インバウンド関連の観光プロモーションについては、そういったスケジューリングで進めていきますがDCキャンペーン2026年7月・8月・9月であります。そこに合わせた形でDCキャンペーンの商談会の案内が熊本県の観光連盟の方から来ております。10/24福岡、10/31大阪に出展をしませんかという話があって、福岡のところに旅費だけで済む話でありますので、日帰りでも対応可能という事で職員1名でプロモーションをかけていこうと考えております。

あわせて、本来理事会のＬＩＮＥグループを作っていこうとしてますけども近藤理事から提案がありました、大相撲九州場所11/9～23までの期間でブースを出しませんかという話です。ブース出展料は不要という事で観光連盟が支払います。

11時～16時の間でのパンフレットの配布等。空いてる日が限られてきますが平日の1日どっかで、職員ないし行ける方は理事の方にご案内をしたいと思っております。

11/12・17・21の候補日があります。インバウンドではなく、国内向けプロモーションになります。

３つ目です。2026年～4ヶ年の天草アクションプランの中で、受託する事業者の方が10/8天草市民センターでサステナブルツーリズムセミナーを開催されます。

現時点で集まりが非常に悪いということで、できましたら理事のみなさん、こちらにご参加いただきたくお願いを申し上げます。

最後、河浦支部の中で、本渡から直通で河浦の崎津まで行くようなバスの運行を希望していて、河浦支部単独で市に要請を出してよろしいか、という伺いがきております。

こちらについては河浦支部坂田さんから補足ありますか？

（事務局　坂田）
先日の河浦支部の会議で産交バスの路線バスが本渡と牛深を除いて後々乗り合いタクシーになる可能性があるので世界文化遺産を抱えた河浦まで直行で行けないことは観光資源があるにも関わらず路線バスを利用して入ってくるお客様が最近増えているという事で河浦支部として直行バスの要望書を天草市に出していいか理事会ではかってほしいという事でした。

（議長　田口副会長）
いいことだと思うんですが、いかがですか。

（山下副会長）
ぐるっと周遊バスは出てますよね。

（中山事務局長）
ぐるっと周遊バスは動いていて、採算が取れていない路線であり、それに対して要望を出すのはどうなのかということはあるとは思うんですけど。
支部単独で出していいかという事に対して、本部としての理事の皆様のご意見をほしいという事です。

（議長　田口副会長）
支部単独でいいか、そうじゃなくて、支部からあげていただいたものを理事会で承認して宝島本体として出すのか。支部単独で上げるのを許すのか、せっかくなので本部で上げたほうがよろしいということであれば、多分持ち帰られると思うんですが。いかがですか。恐らく今後も（こういった案件が）出てくるんじゃないですかね。

（小川理事）
単独路線を守るということであれば、とても無理な話ですから観光客のための公共交通の維持ということで話さないとですね。個人的には公共交通で観光に来て頂いているので、全体の意見にしていただきたい。

（山下副会長）
私も要望は出していいと思います。

（議長　田口副会長）
それは支部で？それとも全体で？

（山下副会長）
全体でもいいんじゃないですか。

（議長　田口副会長）
できるだけ、公共の乗り物というのは天草に不可欠なものなので、都会から来られる方は公共交通が多いですので。支部の方は、宝島本体でもいいとおっしゃってるんですか？

（事務局　坂田）
支部で出していいものなのか、本部として出した方が良いのかを理事会ではかってほしいとのことでした。

（中山事務局長）
決を取りましょうか。

（議長　田口副会長）
では公共交通の事ですから全体で出しましょうという方は？

（理事）挙手多数

（議長　田口副会長）
それでは全体で出すという事で。
市としてはそちらの方がいいですか、松﨑さん？

（松﨑理事）
市の立場を聞かれてもですね…。

（議長　田口副会長）
参考までに短くお願いします。

（松﨑理事）
ぐるっと周遊バスで1,800万ほど持ち出して走らせておりますので、非常に厳しいんじゃないかなと思います。

（議長　田口副会長）
はい、分かりました。宝島本体として出すということで。
他にその他ありますか？

（中山事務局長）
最後に、理事会グループＬＩＮＥ作成のため、自分とＬＩＮＥ交換をお願いします。
以上です。

（田口副会長）
はい。他はないですか？
それでは第３回理事会を閉会いたします。お疲れ様でした。